

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	金融支援対策事業										担当部	地域活性化営業部	担当課	商工振興課	担当係	商工労政		
実施計画	2	年目																
新基本計画	市政戦略編	分野別計画編	5	産業・交流	20	商工業	2	既存商工業の経営を支援します										
予算区分	一般会計		款	7	商工費		項	1	商工費		目	1	商工振興費		大	2	中	2
根拠法令・個別計画	①	小牧市中小企業振興融資助成規則										②	商工組合中央金庫法					
	③	小牧市小企業等経営改善資金融資補助金要綱																
目的	何(誰)を対象に	市内に事業所を有する中小企業者																
	どのような状態にするか	市内に事業所を有する中小企業者の経営基盤の強化と安定化を図る。																
事業の概要	手	どのような事業を実施するか	<p>★中小企業振興融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者が、愛知県小規模企業等振興資金融資制度により、資金融資を受けた時に支払う愛知県信用保証協会への信用保証料の全部又は一部を助成する。 <p>○中小企業経済環境適応融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済環境適応資金サポート資金(セーフティネット)及び東日本大震災復興支援緊急保証の融資に係る愛知県信用保証協会に支払う信用保証料の助成をする。 <p>○小規模企業等振興資金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関に融資資金を預託することにより、金融機関との取引の薄い中小企業者が、愛知県信用保証協会の資金融資を低利で円滑に受けられるようにし、その経営基盤の強化を図る。 <p>○(株)商工中金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業組織強化資金により、事業運営に必要な資金を円滑化し、企業合理化を促進するとともに、中小企業の振興に資することを目的とする。なお、小規模企業等振興資金預託金及び(株)商工中金預託金については、毎年度初日に金融機関に預入を行い、年度末日に払出しを行う。 															
	概	要	事業内容															
概要	年度別事業内容	28年度	<p>○中小企業振興融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者が、愛知県小規模企業等振興資金融資制度により、資金融資を受けた時に支払う愛知県信用保証協会への信用保証料の全部又は一部を助成した。(H28助成実績: 254件、33,401千円) <p>○中小企業経済環境適応融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済環境適応資金サポート資金(セーフティネット)及び東日本大震災復興支援緊急保証の融資に係る愛知県信用保証協会に支払う信用保証料の助成をした。(H28実績: 18件、5,382千円) <p>○小規模企業等振興資金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関に融資資金を預託することにより、金融機関との取引の薄い中小企業者が、愛知県信用保証協会の資金融資を低利で円滑に受けられるようにし、その経営基盤の強化を図った。(H28預託実績: 400,000千円(市内12金融機関24店舗)) <p>○(株)商工中金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業組織強化資金により、事業運営に必要な資金を円滑化し、企業合理化を促進するとともに、中小企業の振興に資することを目的とした。なお、小規模企業等振興資金預託金及び(株)商工中金預託金については、毎年度初日に金融機関に預入を行い、年度末日に払出しを行う。(H28預託実績: 15,000千円) 															

事業の概要	年度別事業内容	29年度	<p>★中小企業振興融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者が、愛知県小規模企業等振興資金融資制度により、資金融資を受けた時に支払う愛知県信用保証協会への信用保証料の全部又は一部を助成した。(H29助成実績: 251件、36,993千円) <p>○中小企業経済環境適応融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済環境適応資金サポート資金(セーフティネット)及び東日本大震災復興支援緊急保証の融資に係る愛知県信用保証協会に支払う信用保証料の助成をした。(H29実績: 2件、492千円) <p>○小規模企業等振興資金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関に融資資金を預託することにより、金融機関との取引の薄い中小企業者が、愛知県信用保証協会の資金融資を低利で円滑に受けられるようにし、その経営基盤の強化を図った。(H29預託実績: 400,000千円(市内12金融機関24店舗)) <p>○(株)商工中金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業組織強化資金により、事業運営に必要な資金を円滑化し、企業合理化を促進するとともに、中小企業の振興に資することを目的とした。なお、小規模企業等振興資金預託金及び(株)商工中金預託金については、毎年度初日に金融機関に預入を行い、年度末日に払出しを行う。(H29預託実績: 15,000千円)
		30年度	<p>★中小企業振興融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者が、愛知県小規模企業等振興資金融資制度により、資金融資を受けた時に支払う愛知県信用保証協会への信用保証料の全部又は一部を助成する。(H30予算額: 40,000千円) <p>○中小企業経済環境適応融資助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済環境適応資金サポート資金(セーフティネット)及び東日本大震災復興支援緊急保証の融資に係る愛知県信用保証協会に支払う信用保証料の助成をする。(H30予算額: 5,000千円) <p>○小規模企業等振興資金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関に融資資金を預託することにより、金融機関との取引の薄い中小企業者が、愛知県信用保証協会の資金融資を低利で円滑に受けられるようにし、その経営基盤の強化を図る。(H30予算額: 400,000千円) <p>○(株)商工中金預託金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業組織強化資金により、事業運営に必要な資金を円滑化し、企業合理化を促進するとともに、中小企業の振興に資することを目的とする。なお、小規模企業等振興資金預託金及び(株)商工中金預託金については、毎年度初日に金融機関に預入を行い、年度末日に払出しを行う。(H30予算額: 15,000千円)

	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
事業費					
合計	463,628	454,237	461,628	453,195	460,628
財源内訳(千円)					
国支出金					
県支出金					
地方債					
その他	415,000	415,000	415,000	415,000	415,000
一般財源	48,628	39,237	46,628	38,195	45,628
特定財源の説明					
事業費内訳					
細々節	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
普通旅費	9	3	9	0	9
特別旅費	3	0	3	0	3
消耗品費	16	5	16	0	16
中小企業振興融資助成金	40,000	33,402	40,000	36,993	40,000
小規模事業者経営改善資金利子補給金	600	444	600	709	600
中小企業経済環境適応融資助成金	8,000	5,383	6,000	493	5,000
小規模企業振興資金預託金	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
㈱商工中金預託金	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
従事者数					
正職員(人数)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
その他職員(人数)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30
	①	②		目標	実績	目標	実績	目標
ステップⅠ	①	当該年度内の中小企業振興融資申込のうち保証料助成割合	%	目標	—	—	—	—
				実績	98.0	93.4	93.2	96.2
	②			目標				
				実績				
事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
①	当該年度内の中小企業振興融資申込者に対する助成金案内送付件数		件	目標	—	—	—	—
		実績		252	273	251	265	
ステップⅡ	事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因							
	H29実施結果	金融情勢など様々な要因による景気の動向が融資件数に影響しており、H28からH29にかけては、融資件数が増加し、助成案内対象先も増加した。また、助成利用割合は9割以上と高い状況で推移しており、助成対象者に対する案内送付により周知が図れていることが要因と考える。今後も、H29と同程度で推移していくものと考えられる。						
今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し								
H29実施結果	引き続き、助成金対象者に対する案内を行い、制度の活用を促していく。							

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	判定理由	経済状況の先行きが不透明であり、中小企業が資金調達するためのニーズとしては高く、引き続き支援が必要と考えられる。	